

公益財団法人 船井情報科学振興財団
2024 年度夏の交流会 in Cambridge

山田倫大さん『正しさと美しさの間に揺れて』

文責：中島悠翔 (FOS'24)

この講演では、数学の基礎からの再構築を目指す研究が紹介されました。従来の数学は公理に基づく形式的・記号的な体系ですが、山田さんが着目してきたのは、その限界を超えて新しい定理や不変量を導き出す「メタ数学」であるといいます。

これは数学者と既存の数学（オラクル）との相互作用として構築され、公理に依存しない新たな枠組みを創出する試みです。これにより、これまで計算不可能とされてきた現象の計算可能性にも新しい視点をもたらす可能性が示唆されました。その研究の独創性から、一つの論文に数年を要するといった困難もありますが、代数的に洗練された体系として結実したさまをお話いただきました。

また、この講演では、独創性を追求する上でのキャリアの困難についても触れられ、学問的成功と社会的成功の違いが語られました。質疑応答では、「既存の計算可能性との違いは？」や「公理が無いとはどういうことか？」といった問いについても丁寧な解説があり、挑戦的な研究姿勢が印象的でした。